

会計人の教養

8
2020



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院 熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京C P A会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

8

ひとりひとりが経営者

31	29	28	27	26	25	24	22	21	20	19	18	17	8
月	土	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	土
スポーツの日	マスク	ボクシングチャンピオン	正義	一射絶命	ボランテイヤ	ラジオ体操	名前	スイカの効果	凡事徹底	向日葵	打ち水	夏の風物詩	仲間がいるよ
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

2020 AUGUST

令和二年 葉月 [はづき]

第6巻5号(通算59号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

仲間がいるよ

私たちは今、一つの集団の中に生きています。集団を団結させるためにはどのようなようにすればいいのでしょうか。

それは、一人ひとりの意識を高めることだと思います。そのためには、相手のために何かをしてあげるといっておもいやりの心が必要です。

人は自分のことを第一に考えがちですが、実は誰でも人の役に立ち、喜ばれることを最高の幸せとする心を持っています。

かつて、真冬のアメリカで起きた飛行機事故で、一人の男性が自らが助かるというその瞬間に、そばで力尽きそうな女性を先に助け、自分は水の中に消えてしまうという出来事がありました。人間の本性とはそれほど美しいものです。

これから、一つのコミュニティ、集団の一員として仕事をしていくと思います。私たちは決して一人だけでは生きていません。周りの支えがあつてこそ今の自分があるのです。感謝の心を忘れずに日々精進していきましょう。

今日の心がけ◆利他の心を持ちましょう。

みなさんは、セミの鳴き声をどう思いますか。

私はセミの鳴き声を聞くと、「今年も夏が来たな」と思います。私にとってセミの鳴き声は、夏が来たことを知らせてくれる夏の風物詩です。

また、セミの鳴き声は、幼い頃を思い出します。それは、幼少期に、友人と公園でよくセミを捕まえていたためです。捕まえすぎてお母さんに怒られたこともあります。今では忘れられない思い出です。

他にも、夏祭りで金魚すくいをしたり、屋台で美味しいものを食べながら花火を見ることで、夏を感じることが出来ます。また、友人と海水浴に行ったり、バーベキューをするのも楽しみの一つです。

みなさんも、学習で大変だとは思いますが、時には外に目を向けて、夏の風物詩を楽しんでみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆夏を楽しみましょう。

みなさんは、夏の風物詩のひとつである、打ち水をご存知でしょうか。

打ち水は、夏場の暑さを和らげる対策として知られています。暑さを和らげることができるのは、地面に撒いた水が、蒸発する際に周囲の熱を奪う効果があるからです。

また、その場を清めるという神道的な意味合いもあり、玄関先や人が出入りする場所への打ち水は、来客への気遣いの一つでもあつたようです。

朝方や夕方のような、温度が上がりにくい時間帯に打ち水をすることで、気温の上昇を抑え、涼しくなる時間帯の体感温度を下げるができます。

夏場はクーラーを使いがちになりますが、使わない時間帯をすることで、省エネや節電にもつながります。昔ながらの知恵で、環境に優しい暑さ対策の打ち水。みなさんも、この夏に、試してみてはいかかでしょうか。

今日の心がけ◆夏の暑さを乗り切りましょう。

夏に咲く、黄色い大きな花びらが特徴の花。それは、向日葵です。向日葵の花言葉は、花の色によって違います。一般的な黄色の向日葵の花言葉は、「憧れ」です。

向日葵は、北アメリカが原産のキク科の一年草です。七月から九月にかけてぐんぐんと伸びた茎から、太陽のような大輪の花をつけます。

向日葵の花は、太陽の方向を追うように向きを変えます。このようなことから、「太陽に向かって成長する植物」といわれています。

また、向日葵の種は、一輪あたり約五百から三千個の種を付けます。花の大きさに比例して種の数も多くなり、たくさん収穫することができます。これは、食用としてリスやハムスターなどの小動物のエサとなる他、化粧品の原料などにも用いられています。

私も、向日葵の花言葉のように、太陽のような憧れの人を見つけ、その憧れの人に近づけるように、成長していききたいと思います。

今日の心がけ◆憧れの人を見つけましょう。

みなさんは、掃除をどのように取り組んでいますか。私は、以前は嫌々ながら掃除を行っていました。

しかし、高校の時に、私の考えを変えました。それは、鍵山秀三郎先生を知ったことです。鍵山先生は、イエローハットの創業者で、掃除によって人々の心を動かし、掃除運動を全国に広げました。

鍵山先生の著書に、凡事徹底というものがあります。この言葉は、当たり前のことを一生懸命に徹底的に行うという意味です。このことを、掃除の実践を通して学んだことが書かれています。

私は、この著書から積み重ねが大きな差に繋がることを学び、誰にでもできることを、私は本当にできているのかと考えさせられました。それから、私は凡事徹底を意識して掃除に取り組むようにしています。

みなさんも、掃除の取り組み方について改めて考えてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆掃除の取り組み方を考えましょう。

スイカの効果

みなさんは、最近スイカを食べましたか。

スイカには、シトルリン、βカロテン、リコピン、カリウム、ビタミンなど、たくさんの栄養素が含まれています。これらの栄養素には、様々な健康に良い効果があります。

例えば、シトルリンは、血流を良くする効果があり、βカロテンは、新陳代謝を促し、肌の老化を予防する効果があります。また、リコピンは、脂肪燃焼効果があり、カリウムは、体内の無駄なものを排泄し、水分を整えてくれる働きがあります。さらに、スイカには、様々なビタミンが含まれており、スイカを食べることでたくさんの栄養を摂ることができます。

熊本県はスイカの生産が有名で、熊本市をはじめ合志市・玉名市などスイカの産地があります。特に、植木町のスイカは出荷量も多く、全国的にも有名です。

今年の夏も猛暑が予報されています。みなさんも、適度にスイカを食べることにより、熱中症や体調管理に気をつけ、今年の夏を乗り切りましょう。

今日の心がけ◆夏バテに気をつけましょう。

誰しも一度は、自分の名前の由来を両親に聞いたことがあると思います。名前は、生まれて初めてにして最大のプレゼントです。

「弓の弦を結ぶように胸を張って凜とした生き方をしてほしい」という意味が込められた名前を持つのは、羽生結弦選手です。

抜群の表現力と、見るものすべてを魅了する美しさを兼ね備えた演技から圧倒的強さを持ち、フィギュアスケート界を牽引してきました。また、オリンピックでは二連覇という偉業を成し遂げ、日本中を元気と感動で包んでくれました。それはまさに名前の通り。凜として芯のある強さを見せつけ、一人前の人間へと成長したのです。

みなさんの名前にはどんな願いが込められているのでしょうか。日常生活から意識すること、いつしか両親の熱い願いの通り、自分の名前に恥じない人間になれることでしょうか。

ぜひ今一度、自分の名前の由来について聞いてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆名前に誇りを持ちましょう。

ラジオ体操は、一九二八年十一月一日に昭和天皇ご即位の大礼を記念して、「国民保健体操」として始まりました。

子供から大人まで誰にでもできる簡単な体操で、学校の体育時間や朝礼でラジオ体操を取り入れている会社もあります。

また、全国各地にラジオ体操会があり、愛好者が約三千万人いるといわれるほど発展しています。

夏に近所の子供たちが集まってラジオ体操をする姿は、夏の風物詩ともいえる光景になっています。カードにスタンプを押してもらうのが楽しみな小学生がいるのは、今も昔も変わりません。

最近では、子供の運動不足が問題になっていますが、誰にでも簡単にできるラジオ体操はおすすめの運動です。みなさんも、ラジオ体操を運動習慣の一つとして、取り入れてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆体を動かしましょう。

二〇二〇年七月四日、熊本県で大雨特別警報が発表されました。

七月三日夜から数日にかけて、豪雨が熊本南部を襲いました。翌四日には球磨川が氾濫、河川流域は甚大な被害が発生しました。熊本県だけではなく、九州全域にかけて長時間の大雨が続き、今もなお各地で被害が広がっています。

そのような厳しい状況の中でも、自衛隊、警察、消防、海上保安庁、その他関係機関の方々が、懸命に救助活動にご尽力されています。しかし、人手不足で今もなお避難所生活の方や、行方不明者の方がいらつしやいます。

新型コロナウイルスの影響もあり、ボランティアの方々も一部制限されている状況です。ボランティア参加者の受け入れと、感染予防をどう両立させるかが課題となっています。

私たちの故郷である熊本、そして九州の被災地、被害者が安全に暮らせる生活が戻ってくるように、今自分にできることを考えましょう。

今日の心がけ◆自分にできることを考えましょう。

みなさんは、一射絶命という言葉をご存知でしょうか。これは、日本の弓術家で弓聖と称された阿波研造さんが残した言葉だといわれています。

一射絶命とは、「次の矢があると甘えるのではなく、一本の矢に己の命をかけるくらいであれ」という意味があります。

私は、高校時代弓道部に所属しており、その時にこの言葉を知りました。部活動の際は、必ずこの言葉を思い出し練習に臨みました。一本一本丁寧に引くことで集中力が身につきました。また、学習面でも「明日やればいい」という甘い考えをなくすことができました。

私たちは、「また今度」「次やればいいや」とついつい考えてしまい、現状から目を背けてしまいます。しかし、今この瞬間は、もう二度と戻つてこないのです。次があるからと甘えず、今ここに意識を向けましょう。

そして、日々の学習も、一射絶命の精神で、一瞬一瞬を大切にしましょう。

今日の心がけ◆今を大切にしましょう。

戦争は、なぜ起きるのでしょうか。

それは、互いが正義の名のもとに戦いを始めるためです。どちらが悪で、どちらが正義なのか決断することは困難です。

「戦争の善悪は歴史が決める」これは、戦争の勝者が正義と暗示する言葉と聞いたことがあります。しかし、植民地にされるのを防ぐために戦った者たちは、悪といえるのでしょうか。私はそれぞれの立場によって、捉え方は違うと思います。

つまり、善悪を考えるのは自分自身の捉え方次第だということです。そのため、自分の捉え方だけでは、戦争は無くなるより過激化していく一方だと考えます。

では、どのようにすれば戦争を回避できるのでしょうか。それは、相手の考え方、文化などを包容する寛大な心だと思えます。日頃の生活からこのことを意識することが大切なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆寛大な心を持ちましょう。

みなさんは、四月十一日が「ガッツポーズの日」であることをご存知でしょうか。

一九七四年の四月十一日に、ガッツ石松氏が、ボクシングのWBCライト級タイトルマッチでチャンピオンに勝利した時です。その時、両手を挙げて喜びを表現したポーズを、スポーツ新聞記者がガッツポーズと書いたことがきっかけで、世間に広まりました。

近年このガッツポーズなどの身体のポーズが、人の感情を判断する重要なポイントであることが実証されています。

それは、決められたポーズをすることで、幸福感を感じ、やる気を高める物質であるドーパミンの分泌を促し、無意識に脳をポジティブな方向に持っていくことができるためです。

気分が落ち込んだり、やる気が出なかったりする時は、ガッツポーズをしてみましよう。沈んだ気分を一瞬で引き上げてくれると思います。

今日の心がけ◆ガッツポーズをしましょう。

なさんは、マスクの歴史を知っていますか。

日本のマスクの歴史は、明治初期に始まります。当時のマスクは、真鍮製の金網を芯に、布地をフィルターとして取り付けたものでした。主に、粉塵除けとして使われており、そのマスクが予防品として注目されたのは、スペインかぜの流行がきっかけです。それ以降、インフルエンザや花粉症の流行に伴い、マスクの需要が増し、改良も徐々に進んでいきました。

現在流行している新型コロナウイルス感染症でも、感染対策としての需要が高まり、マスク不足が延々と続く異常事態が発生しました。

その影響もあり、現在では布製のマスクや変わった形状のもの、おしゃれなデザインなど、様々な種類が販売されています。

このように、時代とともにマスクも変化しています。みなさんも、気になったことの歴史を調べてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆歴史を知らしましょう。

七月に開催予定であった東京オリンピックが、新型コロナウイルスの影響で延期になりました。さて、次年度の「スポーツの日」はどのようなようになったのでしょうか。

祝日については、国民の祝日に関する法律で定められています。そのうちの 하나가、「スポーツの日」です。一九六四年の東京オリンピック開会式を記念した十月十日を一九六六年に「体育の日」と定め国民の祝日とし、法改正により今年から名称が、「スポーツの日」に改められました。

本来は十月の第二月曜日が祝日となりますが、今年に限り東京オリンピックの開会式に合わせて、七月二十四日に変更されていました。

しかし、オリンピックが次年度に延期になりました。そこで、次年度の「スポーツの日」は、今年度と同様七月二十三日の開会式の当日に変更になりました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、東京オリンピックが開催されるか不透明ではありますが、ぜひ開催されて、スポーツの祭典を楽しみたいものですね。

今日の心がけ◆最新のニュースを知りましょう。